

## 公共交通に関する課題の整理

令和3年度に実施した各種調査結果や上位計画・関連計画との関連性から見てきた地域公共交通の現状の問題に対して「望ましい公共交通の姿」を示し、それら公共交通の姿を実現するためのテーマを「確保」「改善」「維持」に集約し、3つの「取り組むべき課題」を整理した。

課題1 生活のための移動手段の確保

課題2 公共交通の利便性の向上

課題3 自家用車からの転換と公共交通利用の促進

## 公共交通に関する課題

視点	現況・問題	現況・問題に対する望ましい公共交通の姿	分類	取り組むべき課題	
現況	各鉄道駅を中心に住居系の土地利用が広がっている。通勤通学では鉄道の次いで自家用車による移動が多い。	都市拠点にアクセスできる公共交通ネットワークの形成	1. 交通不便地域の解消・減少	確保	課題1 生活のための移動手段の確保
			5. 目的地に移動しやすい公共交通ネットワークの充実	改善	課題2 公共交通の利便性の向上
	私事の移動手段は自家用車が最も多く、市街地や幹線道路は渋滞が慢性化している。	過度な自家用車依存を防止する交通ネットワークの強化	1. 交通不便地域の解消・減少	確保	課題1 生活のための移動手段の確保
			5. 目的地に移動しやすい公共交通ネットワークの充実	改善	課題2 公共交通の利便性の向上
	郊外の市街地では近隣市の鉄道駅や集客施設に移動手段が少ない。	隣接市を結ぶ地域間路線の運行	1. 交通不便地域の解消・減少	確保	課題1 生活のための移動手段の確保
			5. 目的地に移動しやすい公共交通ネットワークの充実	改善	課題2 公共交通の利便性の向上
	人口減少の進行が予測される。	潜在的な利用者の利用を促す持続可能な公共交通サービスの提供	2. 利用者増を目的とした地域に適した交通運営	維持	課題3 自家用車からの転換と公共交通利用の促進
			5. 目的地に移動しやすい公共交通ネットワークの充実	改善	課題2 公共交通の利便性の向上
	高齢化の進行が予測される。	高齢者等を含む交通弱者に対する移動手段の確保	3. 高齢者・交通弱者の移動手段の確保	確保	課題1 生活のための移動手段の確保
			5. 目的地に移動しやすい公共交通ネットワークの充実	改善	課題2 公共交通の利便性の向上

現況	郊外の交通空白地域に立地する医療施設・公共施設が一定数ある。	民間送迎車等の既存公共交通と連携した公共交通ネットワークの形成	5. 目的地に移動しやすい公共交通ネットワークの充実	改善	課題2 公共交通の利便性の向上
	行政境界地域の隣接市への移動ニーズが存在する。	最寄りの鉄道駅を結ぶ地域間路線の運行	5. 目的地に移動しやすい公共交通ネットワークの充実	改善	課題2 公共交通の利便性の向上
	高齢者の免許返納数の増加に伴い、交通弱者も増加している。	自家用車に替わる公共交通ネットワークの形成	1. 交通不便地域の解消・減少	確保	課題1 生活のための移動手段の確保
			3. 高齢者・交通弱者の移動手段の確保		
		4. 公共交通を利用しやすい環境の整備	改善	課題2 公共交通の利便性の向上	
		5. 目的地に移動しやすい公共交通ネットワークの充実			

視点	現況・問題	現況・問題に対する望ましい公共交通の姿	分類	取り組むべき課題	
上位・関連計画	所沢市都市計画マスタープランでは、基本理念として「コンパクト・プラス・ネットワークな街づくり」を掲げている。	既存公共交通経路から離れ孤立している対応困難な地域への交通施策の検討	1. 交通不便地域の解消・減少	確保	課題1 生活のための移動手段の確保
			5. 目的地に移動しやすい公共交通ネットワークの充実	改善	課題2 公共交通の利便性の向上
			6. 社会変化に応じた公共交通の整備		
	所沢市障害のある人もない人も共に生きる社会づくり条例では、障害のある人もない人も利用しやすい公共交通機関を掲げている。	障害のある人もない人も公共交通を利用しやすい環境づくり	6. 社会変化に応じた公共交通の整備	改善	課題2 公共交通の利便性の向上
	所沢都市計画都市計画区域の整備、開発及び保全の方針では、高齢者をはじめ誰もが安心・安全に歩いて暮らせるまちづくりを理念に掲げている。	公共交通機関の利用促進による総合的な交通体系の確立	5. 目的地に移動しやすい公共交通ネットワークの充実	改善	課題2 公共交通の利便性の向上
			6. 社会変化に応じた公共交通の整備		
所沢市まちごとエコタウン推進計画では、地球温暖化緩和策の推進の施策として掲げている。	公共交通の利用による温室効果ガスの排出削減	4. 公共交通を利用しやすい環境の整備	改善	課題2 公共交通の利便性の向上 課題3 自家用車からの転換と公共交通利用の促進	
		5. 目的地に移動しやすい公共交通ネットワークの充実			
第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略では「街の魅力アップ」を戦略方針の一つとしている。	「居心地が良く歩きたくなるまちなか」形成に寄与する、生活拠点へのアクセスや街なかの公共交通の利便性向上	4. 公共交通を利用しやすい環境の整備	改善	課題2 公共交通の利便性の向上 課題3 自家用車からの転換と公共交通利用の促進	
		5. 目的地に移動しやすい公共交通ネットワークの充実			

視点	現況・問題	現況・問題に対する望ましい公共交通の姿	分類	取り組むべき課題	
住民アンケート	買い物や通院、趣味などの私事の移動手段は、公共交通よりも自家用車での移動の方が多い。	過度な自家用車依存を防止する交通ネットワークの強化	1 .交通不便地域の解消・現象	課題1 生活のための移動手段の確保	
			5 .目的地に移動しやすい公共交通ネットワークの充実	課題2 公共交通の利便性の向上	
	路線バス、ところバス・ワゴンの利用者が最も改善して欲しい点・利用しない理由は「運行本数が少ない」ことである。	利用者の移動ニーズに合わせた計画的な運行と利便性向上	5 .目的地に移動しやすい公共交通ネットワークの充実	改善	課題2 公共交通の利便性の向上
	路線バス、ところバス・ワゴンの利用者で運行に関する改善以外に求める意見としては「乗り場に屋根やベンチがない」ことである。	スムーズな乗継ぎ及び待合環境の改善	4 .公共交通を利用しやすい環境の整備	改善	課題2 公共交通の利便性の向上
	ところバス・ワゴンを利用しない理由は「目的地へのルートが分からない」ことである。	公共交通のわかりやすい情報提供（運行回数・時刻、運賃、乗り継ぎ等）を行い利用促進	5 .目的地に移動しやすい公共交通ネットワークの充実	改善	課題2 公共交通の利便性の向上
事業者ヒアリング	With・ポストコロナ生活における利用者減少により経営が悪化している。	交通ネットワークを見直し、施設利用者の利便性向上を図り潜在的な利用者の確保 地域公共交通利便増進事業の導入	2 .利用者増を目的とした持続可能な交通運営	課題3 自家用車からの転換と公共交通利用の促進	
			5 .目的地に移動しやすい公共交通ネットワークの充実	課題2 公共交通の利便性の向上	
	バス事業者の従業員新規募集に対する応募件数が少ない。将来的な運転士不足が懸念される。	担い手不足の解消	2 .利用者増を目的とした地域に適した交通運営	維持	課題3 自家用車からの転換と公共交通利用の促進
	ところワゴン・タクシーの運行事業者は平均年齢が55歳以上と年齢が高く運転手の高齢化が進んでいる。	担い手不足の解消	2 .利用者増を目的とした地域に適した交通運営	維持	課題3 自家用車からの転換と公共交通利用の促進
	危険バス停が存在する。	安全で乗降しやすいバス停の整備	4 .公共交通を利用しやすい環境の整備	改善	課題2 公共交通の利便性の向上
ところバス利用実態	利用者が少ないコース・時間がある。	地域の特性に応じた効率的な交通ネットワークの形成	5 .目的地に移動しやすい公共交通ネットワークの充実	改善	課題2 公共交通の利便性の向上
	改善して欲しい点として「数が少ない・増やして欲しい」との意見が多い。	地域の特性に応じた効率的な交通ネットワークの形成	5 .目的地に移動しやすい公共交通ネットワークの充実	改善	課題2 公共交通の利便性の向上
	利用の多いコースでも、乗降の少ない区間がある。	公共交通利用の意識向上と啓発	2 .利用者増を目的とした持続可能な交通運営	維持	課題3 自家用車からの転換と公共交通利用の促進